

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06301山辺町	②学校と地域の課題	05 その他	・中学生社会体験学習において、事業担当教員の業務負担軽減が課題となっている。 ・中学生社会体験学習への協力事業所の減少。	・中学生社会体験学習への協力の呼びかけ	・コーディネーターが学校と地域の連絡調整等を担い、教員の業務負担軽減を図る。 ・中学生社会体験学習に協力事業所の参加数増加のため、継続して呼びかけを続け、体験学習の重要性について周知していく。	協力事業所の十分な確保が進み、事業が円滑に進み、中学生の地域との関わり、責任を持って仕事を成し遂げる達成感を得ることにつながるだけでなく、コーディネーターがこれまで教員が行ってきた調整業務を行うことで、教員の働き方改革にもつながる。	中学生社会体験学習への協力事業所件数	45	件	50	43	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる。 ・今年度も中学生社会体験学習を無事に開催することができた。地域の大人と関わることができ、より成長できたのではないかと思う。しかし、目標である協力事業件数の増加には至らず、減少することとなった。理由としては営業日の変更に伴い、体験日が営業日と合わなくなったため、とのことだった。町内企業所のほとんどは協力してくれており、感謝しかないが、学校側の負担を減らすためにも事業所数を増やしていきたい。改善案として、声掛け等を行ったことがないお店もあるため、そちらのお店にも声掛け等を積極的に行っていきたい。	https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/soshiki/33/yamanobematigakkoutiikisiennhonnbu.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。